



ダイワSociety 5.0 関連株ファンド (資産成長型) (予想分配金提示型)

愛称 スマートテクノロジー

追加型投信/内外/株式

お申込みの際は必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

－ 組入れファンド・ETFのご紹介 －

設定・運用は…

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

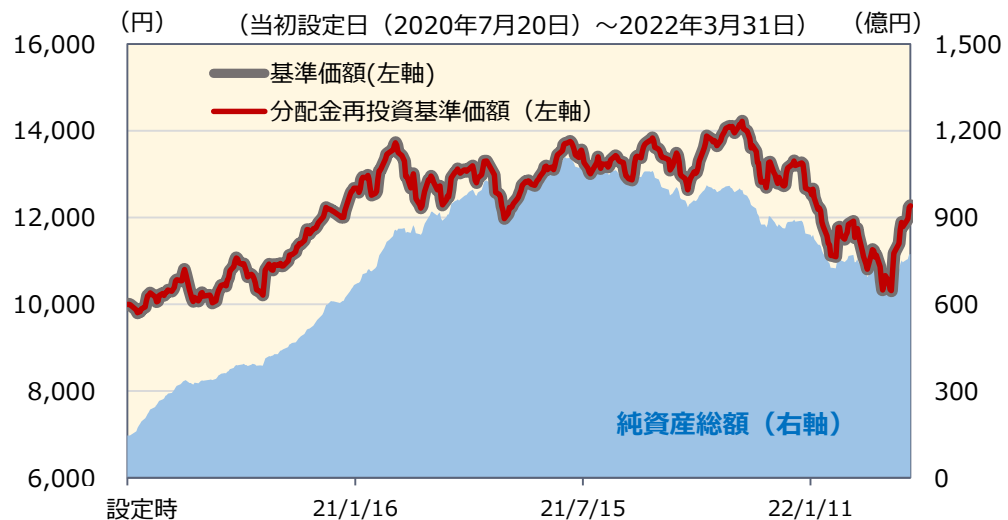
商 号 等 大和アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料で掲載した画像等はイメージです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。
- 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- 当資料はマザーファンドの投資ユニバースに含まれている投資信託証券について、資料作成時点で各投資信託証券の運用会社から入手した情報をもとに記載したものであり、今後、名称変更となる場合、繰上償還等により投資信託証券が除外される場合、新たな投資信託証券が追加となる場合等があります。

当ファンドの運用状況 (基準日：2022年3月31日)

資産成長型



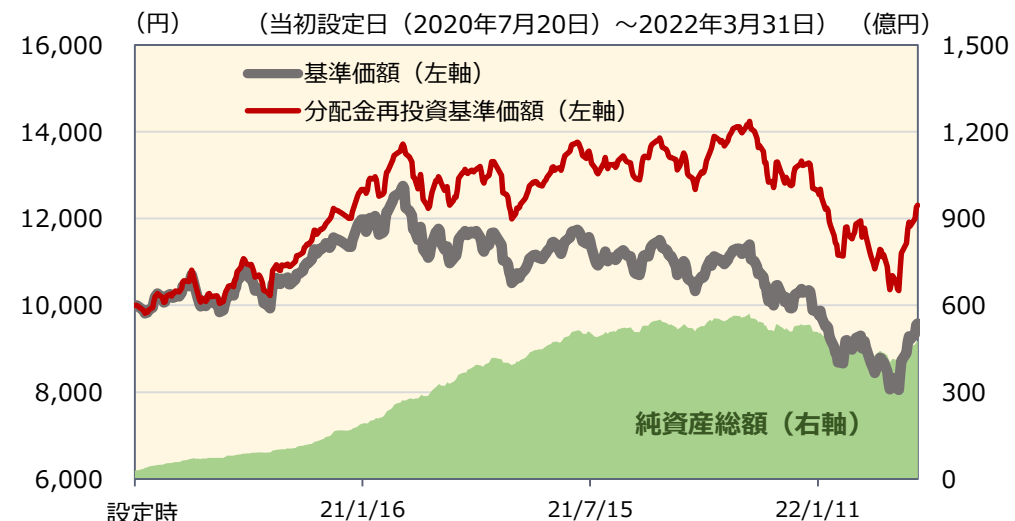
2022年3月31日現在

基準価額	12,273 円
純資産総額	773 億円

分配の推移 (1万口当たり、税引前)		
第1期	('21/1)	0円
第2期	('21/7)	0円
第3期	('22/1)	0円
分配金合計額		0円

期間別騰落率	
期間	ファンド
1か月間	+10.3 %
3か月間	-7.0 %
6か月間	-5.6 %
1年間	-1.6 %
年初来	-7.0 %
設定来	+22.7 %

予想分配金提示型



2022年3月31日現在

基準価額	9,582 円
純資産総額	476 億円

分配の推移 (1万口当たり、税引前)		
第1~13期 ('20/8~'21/8) 計：2,100円		
第14~16期 ('21/9~'21/11) 各200円		
第17期	('21/12)	100円
第18~20期 ('22/1~'22/3) 0円		
分配金合計額		2,800円

期間別騰落率	
期間	ファンド
1か月間	+10.3 %
3か月間	-6.9 %
6か月間	-5.6 %
1年間	-1.5 %
年初来	-6.9 %
設定来	+23.1 %

※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（「ファンドの費用」をご覧ください）。
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
 ※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

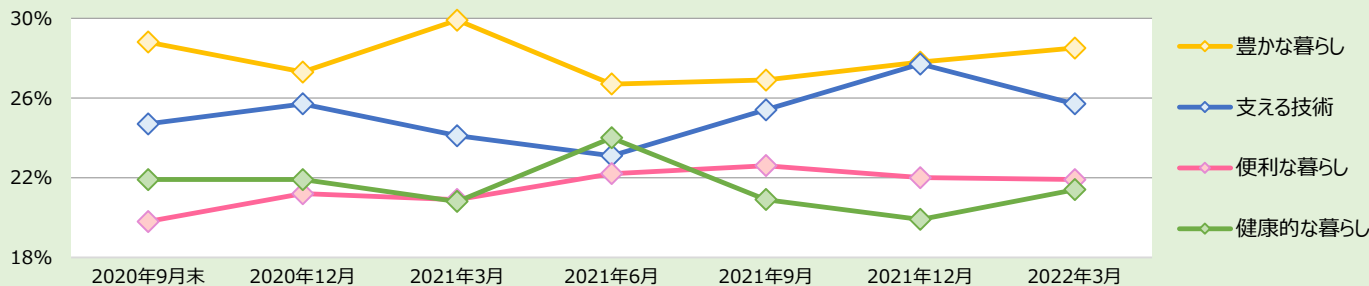
運用に秀でたファンドを選びすぐり × ETFでテーマを網羅した当ファンド

投資ユニバースの概要

	投資信託証券	運用会社
便利な暮らし	 アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	アクサ・インベストメント・マネージャーズ
	 アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	アクサ・インベストメント・マネージャーズ
豊かな暮らし	 SMDAM・グローバルEV関連株ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	三井住友DSアセットマネジメント
	 SMDAM・フード・テクノロジー株式ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	三井住友DSアセットマネジメント
	 Nikkoam FOFs用グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド (適格機関投資家向け)	日興アセットマネジメント
	 グローバルX eコマース ETF (米国籍、米ドル建)	グローバル X マネジメント・カンパニー
	 グローバルX ヒーローズ (ゲーム&eスポーツ) ETF (米国籍、米ドル建)	グローバル X マネジメント・カンパニー
	 グローバルX クラウド・コンピューティング ETF (米国籍、米ドル建)	グローバル X マネジメント・カンパニー
 グローバルX ソーシャルメディア ETF (米国籍、米ドル建)	グローバル X マネジメント・カンパニー	

	投資信託証券	運用会社
健康的な暮らし	 フィデリティ・世界医療機器関連株ファンド・セレクト (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	フィデリティ投信
	 Nikkoam FOFs用グローバル全生物ゲノム株式ファンド (適格機関投資家向け)	日興アセットマネジメント
	 グローバルX 長寿・高齢社会 ETF (米国籍、米ドル建)	グローバル X マネジメント・カンパニー
	 グローバルX eドック (遠隔医療&デジタルヘルス) ETF (米国籍、米ドル建)	グローバル X マネジメント・カンパニー
支える技術	 グローバルIoT関連株ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	BNY メロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン
	 テクノロジー株式ファンド (適格機関投資家専用)	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
	 三菱UFJ国際 サイバーセキュリティ株式オープン (為替ヘッジなし) (FOFs用) (適格機関投資家限定)	三菱UFJ国際投信
	 グローバルX AI&ビッグデータ ETF (米国籍、米ドル建)	グローバル X マネジメント・カンパニー

4つのコンセプトの配分比率の推移 (資産成長型)



POINT! 大和アセットが機動的にファンド、ETFの配分比率を調整

※写真はイメージです。※2022年1月末現在で委託会社が各投資信託証券の運用会社から入手した情報をもとに記載したものであり、今後、名称変更となる場合、繰上償還等により投資信託証券が除外される場合、新たな投資信託証券が追加となる場合等があります。※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。※配分比率は各ファンドの純資産総額に対するものです。

アクサIM・グローバル・フィンテック 関連株式ファンド

(為替ヘッジなし)
(適格機関投資家専用)

運用会社：

アクサ・インベストメント・
マネージャーズ

4つのコンセプト「便利な暮らし」

組入れファンド・ETFの概要

テクノロジーの進化で金融サービスのデジタル化が加速

フィンテック (FinTech) とは

FinanceとTechnologyを組み合わせた造語で、最新のIT技術を用いた「新たな金融サービス」のことをいいます。



※上記はイメージです。

ファンドの特色

1. キャッシュレス化に恩恵を受ける企業、ITを積極的に取り込む金融機関、新たな金融サービスの技術的な基盤を支える企業などに注目して投資します。
2. 株式の運用はアクサ・インベストメント・マネージャーズが行ないます。

数多くのテーマ運用で豊富な実績を有するアクサ・インベストメント・マネージャーズは、世界最大級の保険・資産運用グループであるアクサ・グループの資産運用部門です。

運用会社
からの
メッセージ

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化していき、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。

運用状況 (基準日：2022年3月31日)

基準価額の推移



騰落率		国・地域別構成上位		業種別構成上位	
		国・地域名	比率	業種名	比率
1か月間	+9.0%	米国	46.9%	情報技術	53.0%
3か月間	+0.6%	ケイマン諸島	8.2%	金融	37.2%
6か月間	-7.0%	英国	7.2%	コミュニケーション・サービス	3.2%
1年間	-4.9%	イタリア	4.2%	資本財・サービス	0.8%
3年間	+39.0%	フランス	3.7%	一般消費財・サービス	0.1%
年初来	+0.6%				
設定来	+43.0%				

- ※ 「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
- ※ 基準価額の計算において実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。
- ※ 騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間としています。実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ※ 当ファンドはマザーファンドを組入れます。国・地域別構成・業種別構成比率はファンドの純資産総額に対する実質的な比率です。業種名は、原則として世界産業分類基準(GICS)によるものです。
- ※ 上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所) 運用会社からのデータを基に大和アセット作成

※くわしくは「投資信託説明書(請求目論見書)」をご覧ください。

アクサIM・グローバル・ロボット 関連株式ファンド

(為替ヘッジなし)
(適格機関投資家専用)

運用会社：
アクサ・インベストメント・
マネージャーズ

4つのコンセプト「便利な暮らし」
組入れファンド・ETFの概要

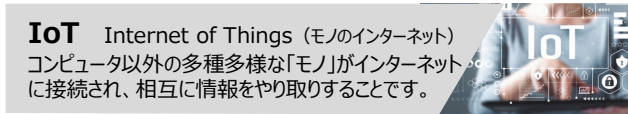
ロボットテクノロジー革命を加速させる先端技術



5G 5th Generation
(第5世代移動通信システム)
多数接続・超低遅延などが
特徴の通信です。

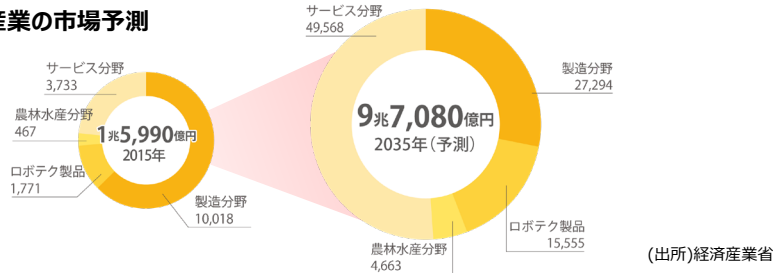


AI Artificial Intelligence (人工知能)
人間の脳が行っている知的な作業をコンピュータ
で模倣したソフトウェアやシステムのことです。



IoT Internet of Things (モノのインターネット)
コンピュータ以外の多種多様な「モノ」がインターネット
に接続され、相互に情報をやり取りすることです。

ロボット産業の市場予測



ファンドの特色

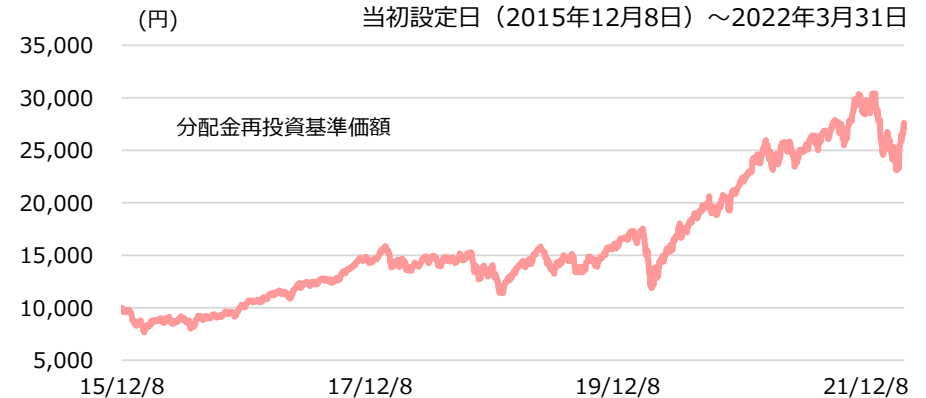
1. 日本を含む世界のロボット関連企業の株式*に投資します。*DR(預託証券)を含みます
当ファンドにおいてロボット関連企業とは、ロボット・テクノロジーの開発や製造
などにより、ビジネスを展開する企業を指します。
2. 株式の運用はアクサ・インベストメント・マネージャーズが行ないます。
数多くのテーマ運用で豊富な実績を有するアクサ・インベストメント・マネー
ジャーズは、世界最大級の保険・資産運用グループであるアクサ・グループの資産
運用部門です。

運用会社 からの メッセージ

Eコマース市場の拡大を背景に、物流拠点や配送センターなどの処理能力を強
化するための自動化投資が加速しています。また、脱炭素に向けて世界的に
EVシフトが本格化する中、EV・バッテリー製造分野において大規模な設備
投資が見込まれています。コロナ後の景気回復局面を見据えて、ロボット関連
の需要は高水準で推移することが期待されます。

運用状況 (基準日: 2022年3月31日)

基準価額の推移



騰落率	国・地域別構成上位		業種別構成上位	
	国・地域名	比率	業種名	比率
1カ月間 +7.3%	米国	62.4%	情報技術	51.6%
3カ月間 -9.9%	日本	12.7%	資本財・サービス	18.1%
6カ月間 +2.7%	ドイツ	5.5%	ヘルスケア	17.0%
1年間 +11.5%	台湾	2.4%	一般消費財・サービス	4.7%
3年間 +90.3%	フランス	2.0%	コミュニケーション・サービス	3.1%
年初来 -9.9%				
設定来 +171.9%				

- ※ 「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
- ※ 基準価額の計算において実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。
- ※ 騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間としています。実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ※ 当ファンドはマザーファンドを組入れます。国・地域別構成・業種別構成比率はファンドの純資産総額に対する実質的な比率です。業種名は、原則として世界産業分類基準(GICS)によるものです。
- ※ 上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所) 運用会社からのデータを基に大和アセット作成

※くわしくは「投資信託説明書(請求目論見書)」をご覧ください。

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

SMDAM・グローバルEV関連株 ファンド

(FoFs用)
(適格機関投資家専用)

運用会社：
三井住友DS
アセットマネジメント

4つのコンセプト「便利な暮らし」
組入れファンド・ETFの概要

世界最大級の産業が迎える100年に一度の革命 - 自動車産業が21世紀に再び生まれ変わる -

自動車の中心は“運転”から“利用”へ



※上記はイメージです。

ファンドの特色

1. EV（電気自動車）関連企業の株式に実質的に投資することで、信託財産の成長を目指します。
「グローバルEV関連株マザーファンド」への投資を通じて、EV（電気自動車）の進化や発展に伴い、恩恵を受けられる企業に投資します。銘柄の選定にあたっては、個々の企業の成長性や株価のバリュエーションを考慮します。
2. マザーファンドにおける運用指図にかかる権限を、ロベコ・スイス・エージーへ委託します。

運用会社
からの
メッセージ

世界的に脱炭素（カーボンニュートラル）に向けた動きは加速するとみられており、各国・地域の政府はガソリン・ディーゼル車からEVへの転換に積極的に取り組んでいます。当ファンドは長期的な成長が期待される「EV」テーマの中で分散投資を進めており、機動的な運用を行っています。

運用状況（基準日：2022年3月31日）

基準価額の推移



騰落率	国・地域別構成上位		業種別構成上位		
	国・地域名	比率	業種名	比率	
1か月間	+7.3%	米国	40.9%	情報技術	49.6%
3か月間	-5.6%	フランス	10.2%	資本財・サービス	19.6%
6か月間	+5.3%	日本	9.2%	一般消費財・サービス	18.8%
1年間	+7.8%	韓国	9.0%	素材	11.8%
年初来	-5.6%	中国	8.7%	エネルギー	0.2%
設定来	+73.2%				

- ※ 「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
- ※ 基準価額の計算において実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています。
- ※ 騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間としています。実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ※ 国・地域別構成、業種別構成比率は現物株の時価総額対比。業種名は、原則として世界産業分類基準（GICS）によるものです。
- ※ 上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

（出所）運用会社からのデータを基に大和アセット作成

※くわしくは「投資信託説明書（請求目論見書）」をご覧ください。

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※表紙の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

SMDAM・フード・テクノロジー 株式ファンド

(FoFs用)
(適格機関投資家専用)

運用会社：
三井住友DS
アセットマネジメント

4つのコンセプト「豊かな暮らし」
組入れファンド・ETFの概要

イノベーションを迫られる食糧産業

人類の変わらぬ命題である世界的な食糧需要の高まりに加え、食糧産業は「需要と供給」の両面で多数の課題に直面しています。



ファンドの特色

- 新興国、日本を含む世界の取引所に上場している株式（不動産投資信託を含みます）に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
- 実質的な運用は、ニュートン・インベストメント・マネジメント・リミテッドが行ないます

英国ロンドンを本拠とするBNYメロン・グループ傘下の資産運用会社です。1978年の創業来、株、債券に関わらずすべての資産にテーマ型アプローチを適用し、世界の情勢の変化を先取りするユニークなプロセスで運用を行なう運用会社です。

運用会社からのメッセージ

食糧産業は、世界的な食糧需要の高まりというメガ・トレンドに加え、テクノロジーの進化、“食”の価値観の多様化などを背景に、今まさに劇的な転換点に差し掛かっています。この大変革を勝ち抜く企業に着目することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。

運用状況（基準日：2022年3月31日）

基準価額の推移



騰落率	国・地域別構成上位		業種別構成上位	
	国・地域名	比率	業種名	比率
1か月間 +12.1%	米国	43.1%	生活必需品	44.5%
3か月間 +4.2%	スイス	8.1%	素材	27.2%
6か月間 +11.2%	ノルウェー	6.0%	資本財・サービス	17.0%
1年間 +15.4%	英国	5.9%	情報技術	4.3%
年初来 +4.2%	日本	5.7%	ヘルスケア	3.5%
設定来 +48.0%				

- ※ 「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
- ※ 基準価額の計算において実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています。
- ※ 騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間としています。実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ※ 国・地域別構成・業種別構成比率は現物株の時価総額対比。業種名は、原則として世界産業分類基準（GICS）によるものです。
- ※ 上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

（出所）運用会社からのデータを基に大和アセット作成

※くわしくは「投資信託説明書（請求目論見書）」をご覧ください。

Nikkoam FoFs用 グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド

(適格機関投資家向け)

運用会社：
日興アセットマネジメント

4つのコンセプト「豊かな暮らし」
組入れファンド・ETFの概要

到来が予想される“MaaS社会”

MaaS モビリティ・アズ・ア・サービス (Mobility as a Service) の略称で「マース」と呼びます。サービスとしての移動 (モビリティ)、自動運転技術などを活用した全く新しいサービス。



自動運転技術

※上記はイメージです。

ファンドの特色

1. 世界の株式の中から主にモビリティ・サービス関連企業 (以下、MaaS関連企業) の株式などに投資します。

MaaS関連企業には、移動手段として、自動車などの「モノ」を提供する企業や、ライドシェアリングのように「サービス」を提供する企業などがあります。

2. 個別銘柄の選定において、アーク社の調査力を活用します。

イノベーションにフォーカスした調査に強みを持つ、米国のアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー (アーク社) からの助言をもとに、日興アセットマネジメント アメリカズ・インクがポートフォリオを構築します。

運用会社からのメッセージ

100年に一度のイノベーションといわれるモビリティ革命。

完全自動運転技術の登場により世界は今、移動手段がサービスとして提供されるMaaS社会へ急速に移行しつつあります。

当ファンドはMaaS社会で主役となると考えられる企業に投資を行います。

運用状況 (基準日: 2022年3月31日)

基準価額の推移



騰落率	国・地域別構成上位		業種別構成上位	
	国・地域名	比率	業種名	比率
1か月間 +12.1%	米国	69.1%	資本財	27.3%
3か月間 -7.5%	中国	10.6%	自動車・自動車部品	19.7%
6か月間 -4.2%	日本	4.0%	ソフトウェア・サービス	13.7%
1年間 -6.6%	台湾	2.9%	テクノロジー・ハードウェア	12.0%
年初来 -7.5%	フランス	2.8%	運輸	9.7%
設定来 +51.9%				

- ※ 「分配金再投資基準価額」は、分配金 (税引前) を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
- ※ 基準価額の計算において実質的な運用管理費用 (信託報酬) は控除しています。
- ※ 騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間としています。実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ※ 国・地域別構成・業種別構成比率はマザーファンドの状況です。比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。業種名は、原則として世界産業分類基準 (GICS) によるものです。
- ※ 上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所) 運用会社からのデータを基に大和アセット作成

※くわしくは「投資信託説明書 (請求目論見書)」をご覧ください。

グローバルX eコマース ETF

(米国籍、米ドル建)

運用会社：
グローバルX
マネジメント・カンパニー

ファンドの特色

- eコマースプラットフォームの運営、eコマースソフトウェアの提供、サービス、および/または商品やサービスをオンラインで提供するなど、eコマース関連需要の拡大から利益を得る可能性がある企業へ投資します。
- 対象指数への動きに連動した投資成果をめざします。
対象指数：Solactive E-commerce Index



運用状況 (基準日：2022年3月31日)

基準価額の推移



騰落率	
1か月間	-5.0%
3か月間	-19.3%
6か月間	-26.1%
1年間	-34.6%
3年間	+28.2%
設定来	+50.3%

国・地域別構成上位	
国・地域名	比率
米国	57.3%
中国	24.0%
英国	5.7%
アルゼンチン	4.7%
日本	3.8%

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。※騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。※国・地域別構成は、ファンドの純資産総額に対する比率です。※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所) 運用会社からのデータを基に大和アセット作成

※くわしくは「投資信託説明書(請求目論見書)」をご覧ください。

グローバルX ヒーローズ (ゲーム&eスポーツ) ETF

(米国籍、米ドル建)

運用会社：
グローバルX
マネジメント・カンパニー

ファンドの特色

- ビデオゲームの開発、Eスポーツリーグの運営、またはAR、VRハードウェアの製造を行なう企業等へ投資します。
- 対象指数への動きに連動した投資成果をめざします。
対象指数：Solactive Video Games & Esports Index



運用状況 (基準日：2022年3月31日)

基準価額の推移



騰落率	
1か月間	-2.3%
3か月間	-11.0%
6か月間	-10.0%
1年間	-18.9%
設定来	+70.8%

国・地域別構成上位	
国・地域名	比率
米国	35.7%
日本	25.6%
韓国	14.4%
中国	12.0%
スウェーデン	4.7%

グローバルX クラウド コンピューティング ETF

(米国籍、米ドル建)

運用会社：
グローバルX
マネジメント・カンパニー

ファンドの特色

- クラウドコンピューティングの技術を用いてソフトウェア、プラットフォーム、およびインフラの提供を行う企業並びに関連企業へ投資します。
- 関連企業にはデータセンター・セクターのREITや、これらを支える最先端のハードウェア企業が含まれます。
- 対象指数への動きに連動した投資成果をめざします。
対象指数：Indxx Global Cloud Computing Index

運用状況 (基準日：2022年3月31日)

基準価額の推移



騰落率	
1か月間	+3.9%
3か月間	-17.1%
6か月間	-23.6%
1年間	-13.1%
設定来	+48.6%

国・地域別構成上位	
国・地域名	比率
米国	87.6%
英国	5.1%
イスラエル	3.1%
カナダ	2.5%
チリ	1.7%

※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。※国・地域別構成は、ファンドの純資産総額に対する比率です。※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所) 運用会社からのデータを基に大和アセット作成

※くわしくは「投資信託説明書（請求目論見書）」をご覧ください。

グローバルX ソーシャルメディア ETF

(米国籍、米ドル建)

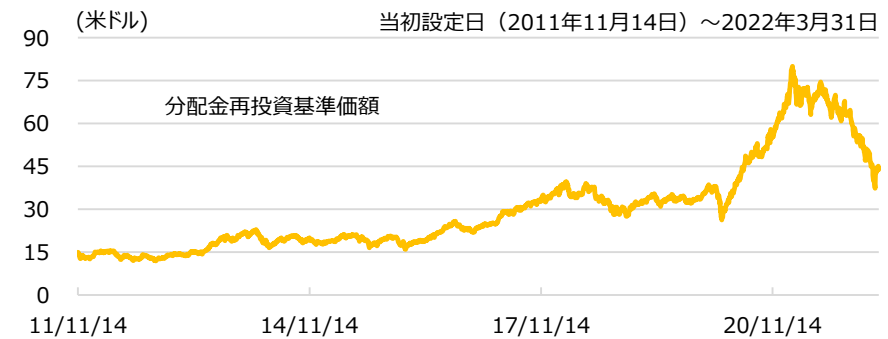
運用会社：
グローバルX
マネジメント・カンパニー

ファンドの特色

- 世界のソーシャルメディア関連企業へ投資します。
- 対象指数への動きに連動した投資成果をめざします。
対象指数：Solactive Social Media Total Return Index

運用状況 (基準日：2022年3月31日)

基準価額の推移



騰落率	
1か月間	-3.5%
3か月間	-20.7%
6か月間	-30.0%
1年間	-35.5%
3年間	+33.8%
設定来	+194.0%

国・地域別構成上位	
国・地域名	比率
米国	44.9%
中国	29.4%
韓国	11.7%
日本	5.9%
スウェーデン	4.2%

フィデリティ・世界医療機器関連株 ファンド・セレクト

(為替ヘッジなし)
(適格機関投資家専用)

運用会社：
フィデリティ投信

4つのコンセプト「健康的な暮らし」
組入れファンド・ETFの概要

これからも進化が期待できる医療市場



※ 上記のイメージ図は世界医療機器関連市場の概要についての参考に過ぎず、世界医療機器関連市場または世界医療関連株の今後の推移を示唆もしくは保証するものではありません。

※上記はイメージです。

ファンドの特色

- 高い成長性と高い収益性をかね備えた医療機器関連企業の株式に投資します。
 - 企業の魅力: 高い収益成長が期待できる
キーワード: 高齢化、医療効率化、新興国展開
 - 業種の魅力: 高成長かつ安定性も備えた業種
キーワード: 高い収益成長とともに、景気循環と業種間の変動性を乗り越える安定性
 - ファンドの魅力: 徹底した調査で、選別した勝ち組企業に投資
キーワード: 医学専攻の運用者と圧倒的な調査力
- 運用は長期の運用実績を有するフィデリティ・マネジメン・アンド・リサーチ・カンパニー・エルエルシーに運用の指図に関する権限を委託します。

運用会社
からの
メッセージ

新型コロナウイルス感染拡大により遠隔医療の必要性は高まり、5G技術等を活用した医療のデジタルネットワーク化が進んでいます。在宅医療機器による在宅での治療、手術の自動化、高度なAI診断など新時代の医療も次々と現実になると思っています。「健康的な暮らし」の為には無くてはならない医療機器。更なる成長が期待されるファンドです。

運用状況 (基準日: 2022年3月31日)

基準価額の推移



騰落率		国・地域別構成上位		業種別構成上位	
期間	騰落率	国・地域名	比率	業種名	比率
1か月間	+9.1%	米国	92.5%	ヘルスケア	97.1%
3か月間	-5.9%	スイス	2.2%	生活必需品	0.8%
6か月間	-0.8%	ドイツ	1.9%	一般消費財・サービス	0.6%
1年間	+20.2%	オーストラリア	0.7%		
年初来	-5.9%	英国	0.5%		
設定来	+49.4%				

- ※ 「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
- ※ 基準価額の計算において実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。
- ※ 騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間としています。実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ※ 国・地域別構成・業種別構成比率はマザーファンドの状況です。比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。業種名は、原則として世界産業分類基準(GICS)によるものです。
- ※ 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。

(出所) 運用会社からのデータを基に大和アセット作成

※くわしくは「投資信託説明書(請求目論見書)」をご覧ください。

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

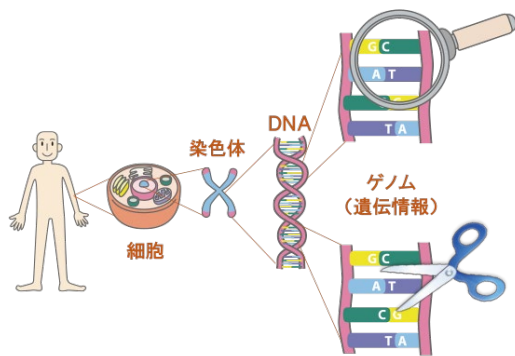
Nikkoam FoFs用 グローバル全生物 ゲノム株式ファンド (適格機関投資家向け)

運用会社：
日興アセットマネジメント

4つのコンセプト「健康的な暮らし」
組入れファンド・ETFの概要

人類史上最大級のイノベーション ゲノム革命 = ゲノム解析 + ゲノム編集

ゲノム 全生物のDNAに含まれるすべての遺伝情報のこと。いわば「生命の設計図」。
ゲノム解析・編集技術とは、バイオテクノロジーの中でも近年注目が集まる技術。



※上図はイメージです。

ゲノム解析

DNAの中の遺伝情報が容易に解析可能に。AIとスーパーコンピュータの進化によって、全生物の「生命の設計図」の解析に道筋がひらかれた。その費用の低下と解析スピードの向上が著しい。

ゲノム編集

遺伝子編集技術、CRISPR/Cas9 (クリスパー/キャスナイン) の登場。バイオテクノロジーにおける「世紀の発明」。従来の技術と比べ飛躍的に扱いやすく、効率・コストの面でも優れることから、「ゲノム編集の革命」「神の鋏 (はさみ)」と言われている。

ファンドの特色

1. 主に、世界の株式の中から、ゲノム関連ビジネスを行なう企業およびゲノム技術の恩恵を受ける企業の株式*に投資を行ないます。 *預託証券を含みます。
ゲノム関連ビジネスを行なう企業には、ゲノム解析やゲノム編集を用いた製品の開発・サービスなどを提供する企業があります。
2. 個別銘柄の選定において、アーク社の調査力を活用します。
イノベーションにフォーカスした調査に強みを持つ、米国のアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー (アーク社) からの助言をもとに、日興アセットマネジメント アメリカズ・インクがポートフォリオを構築します。

運用会社
からの
メッセージ

人類史上最大級のイノベーションといわれるゲノム革命。ゲノム編集技術 CRISPR/CAS9は2020年、ノーベル化学賞を受賞しました。ゲノム革命により医療、食料、環境分野に巨大なビジネスチャンスが訪れようとしています。
当ファンドはこのゲノム革命で主役となると考えられる企業に投資を行います。

運用状況 (基準日: 2022年3月31日)

基準価額の推移



騰落率	国・地域別構成上位		業種別構成上位	
	国・地域名	比率	業種名	比率
1か月間 +5.4%	米国	79.9%	医薬品・バイオテクノロジー	75.9%
3か月間 -15.2%	スイス	8.1%	ヘルスケア機器・サービス	17.6%
6か月間 -26.9%	中国	8.0%	素材	2.6%
1年間 -31.8%	英国	2.0%	テクノロジー・ハードウェア	2.0%
年初来 -15.2%	韓国	0.9%	ソフトウェア・サービス	1.5%
設定来 -6.0%				

- ※ 「分配金再投資基準価額」は、分配金 (税引前) を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
- ※ 基準価額の計算において実質的な運用管理費用 (信託報酬) は控除しています。
- ※ 騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間としています。実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ※ 国・地域別構成・業種別構成比率はマザーファンドの状況です。比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。業種名は、原則として世界産業分類基準 (GICS) によるものです。
- ※ 上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所) 運用会社からのデータを基に大和アセット作成

※くわしくは「投資信託説明書 (請求目論見書)」をご覧ください。

グローバルX 長寿・高齢社会 ETF

(米国籍、米ドル建)

運用会社：
グローバルX
マネジメント・カンパニー

ファンドの特色

- 世界の株式の中から長期的、構造的な人口動態トレンドである長寿・高齢社会に関連する企業へ投資します。
- 対象指数への動きに連動した投資成果をめざします。
対象指数：Indxx Global Longevity Thematic Index



運用状況 (基準日：2022年3月31日)

基準価額の推移



騰落率	
1か月間	+5.8%
3か月間	-0.6%
6か月間	-1.3%
1年間	+4.3%
3年間	+36.3%
設定来	+96.8%

国・地域別構成上位	
国・地域名	比率
米国	59.8%
スイス	9.2%
デンマーク	7.3%
日本	6.1%
英国	5.6%

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。※騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。※国・地域別構成は、ファンドの純資産総額に対する比率です。※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

グローバルX eドッグ (遠隔医療&デジタルヘルス) ETF

(米国籍、米ドル建)

運用会社：
グローバルX
マネジメント・カンパニー

ファンドの特色

- 遠隔医療とデジタルヘルスの分野の発展から利益を受ける可能性のある企業への投資を目指します。
- 対象指数への動きに連動した投資成果をめざします。
対象指数：Solactive Telemedicine&Digital Health Index



運用状況 (基準日：2022年3月31日)

基準価額の推移



騰落率	
1か月間	+0.3%
3か月間	-12.1%
6か月間	-18.0%
1年間	-23.9%
設定来	-4.5%

国・地域別構成上位	
国・地域名	比率
米国	89.7%
中国	5.2%
香港	2.6%
ドイツ	2.5%

(出所) 運用会社からのデータを基に大和アセット作成

※くわしくは「投資信託説明書(請求目論見書)」をご覧ください。

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※表紙の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

グローバル IoT関連株 ファンド

(為替ヘッジなし)
(適格機関投資家専用)

運用会社：
BNY メロン・インベスト
メント・マネジメント・ジャパン

4つのコンセプト「支える技術」
組入れファンド・ETFの概要

わたしたちの想像を超えた、はるかに便利で豊かな社会へ…

あらゆるモノの情報をインターネットにつなぐ技術こそが「IoT」と呼ばれるもので、人の処理能力を超えたAI（人工知能）の活用も相まって、ゆくゆくはわたしたちの暮らしや産業構造を劇的に変えていくことが予想されます。



ファンドの特色

- 世界のIoT関連企業の株式*に投資します。 *DR（預託証券）を含みます。
当ファンドにおけるIoT関連企業とは：IoTを活用した製品・サービスの提供およびビジネスの創出・拡大を行なう企業、IoTを支える通信インフラを管理・提供する企業、IoTに関連した技術を駆使し、AI（人工知能）に携わる企業
- 株式の運用は、メロン・インベストメント・コーポレーションが行ないます。

運用会社からのメッセージ

IoTが活用される分野は、工場やインフラ、小売、医療など多岐にわたります。特に足下では、新型コロナウイルスの影響による非接触化ニーズの高まりから、ヘルスケアを中心にウェアラブル機器などのIoT機器の普及が急速に進んでおり、IoTの収益機会は一層の拡大期にあると考えます。

運用状況（基準日：2022年3月31日）

基準価額の推移



騰落率	国・地域別構成上位		業種別構成上位	
	国・地域名	比率	業種名	比率
1か月間 +8.2%	米国	82.0%	半導体	29.8%
3か月間 -12.5%	日本	6.5%	電気部品・設備	12.2%
6か月間 +1.1%	シンガポール	4.5%	ヘルスケア機器	8.3%
1年間 +14.0%	フィンランド	4.2%	システム・ソフトウェア	6.3%
3年間 +86.7%	ノルウェー	2.8%	民生用電子機器	6.2%
年初来 -12.5%				
設定来 +139.1%				

- ※ 「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
- ※ 基準価額の計算において実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています。
- ※ 騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間としています。実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ※ 国・地域別構成・業種別構成比率はマザーファンドの株式運用部分の評価金額に対する比率です。業種名は、原則として世界産業分類基準（GICS）によるものです。
- ※ 上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

（出所）運用会社からのデータを基に大和アセット作成

※わくわくは「投資信託説明書（請求目論見書）」をご覧ください。

テクノロジー株式 ファンド

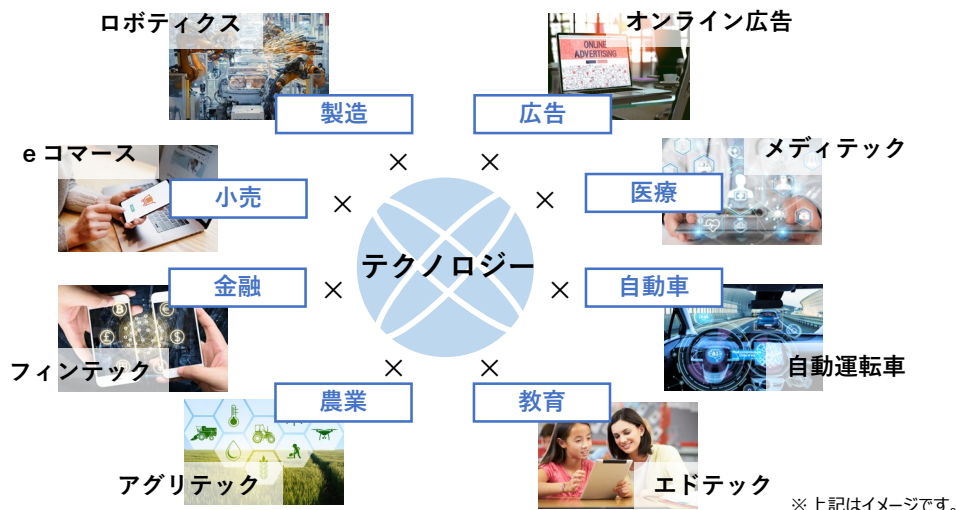
(適格機関投資家専用)

運用会社：
ゴールドマン・サックス・
アセット・マネジメント

4つのコンセプト「支える技術」
組入れファンド・ETFの概要

テクノロジーの発展で未来はもっと豊かになる

－革新的なテクノロジーがあらゆる産業に変革をもたらしています－



ファンドの特色

- 主にテクノロジーの発展により恩恵を受ける米国企業の株式に投資します。
主要な投資対象とする米国企業には、メディア、テレコミュニケーション、テクノロジー、サービス等のセクターにおいて、インフラ、コンテンツ、サービス等を提供する企業を含みます。
- 「よりよい投資収益は、長期にわたって成長性の高い事業へ投資することにより獲得される」との投資哲学のもと、個別銘柄の分析を重視したボトムアップ手法により銘柄選択を行ないます。

運用会社 からの メッセージ

「テクノロジー・トールキーパー」企業などへ投資

テクノロジー業界において、高速道路などの「料金所」のように「交通量」（＝売上げ数量）の増加や「通行料」（＝価格）の値上げによって収益を上げることのできる企業（「テクノロジー・トールキーパー」企業）などへ投資を行います。

運用状況 (基準日：2022年3月31日)

基準価額の推移



騰落率	国・地域別構成上位		業種別構成上位		
	国・地域名	比率	業種名	比率	
1か月間	+9.2%	米国	98.9%	情報技術	71.1%
3か月間	-7.1%			コミュニケーション・サービス	11.9%
6か月間	+0.7%			一般消費財・サービス	9.5%
1年間	+17.2%			不動産	5.2%
年初来	-7.1%			資本財・サービス	1.1%
設定来	+44.0%				

- ※ 「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
- ※ 基準価額の計算において実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています。
- ※ 騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間としています。実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ※ 国・地域別構成・業種別構成比率はマザーファンドのデータであり、比率は対純資産総額比です。業種名は、原則として世界産業分類基準（GICS）によるものです。
- ※ 上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、ポートフォリオの内容は市場の動向等を勘案して随時変更されます。

(出所) 運用会社からのデータを基に大和アセット作成

※くわしくは「投資信託説明書（請求目論見書）」をご覧ください。

三菱UFJ国際 サイバーセキュリティ 株式オープン

(為替ヘッジなし) (FoFs用)
(適格機関投資家限定)

運用会社：
三菱UFJ国際投信

4つのコンセプト「支える技術」
組入れファンド・ETFの概要

増加するサイバー攻撃の被害

サイバー
【Cyber:インターネット上の】
セキュリティ
【Security:安全、防衛、警備】

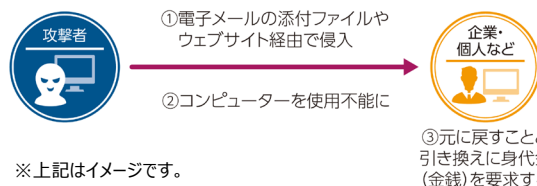
技術革新によって、様々なモノやサービスが外部とつながることにより、インターネットを通じたサイバー攻撃のリスクも高まっています。
また、新たな手法のサイバー攻撃が次々と生み出されています。だからこそ、サイバーセキュリティが必要になるのです。

主なサイバー攻撃

パスワードクラック



ランサムウェア



※上記はイメージです。

ファンドの特色

- 主として日本を含む世界のサイバーセキュリティ関連企業の株式に投資を行います。
※ 当ファンドにおいては、サイバー攻撃に対するセキュリティ技術を有し、これを活用した製品・サービスを提供するテクノロジー関連の企業等をいいます。
- 株式等の運用にあたっては、アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ユーエス・エルエルシーに運用指図に関する権限を委託します。

運用会社
からの
メッセージ

テクノロジーを悪用したサイバー攻撃が国家レベルでも脅威となりつつあります。そこで今回わたしたちがご用意したのは、サイバーセキュリティ企業に対して社会的ニーズが高まる点に着目し、投資を行うファンドです。高い成長が期待されるサイバーセキュリティが作り出す、安心・安全な情報化社会の未来に真剣に目を向けてみませんか。

運用状況 (基準日: 2022年3月31日)

基準価額の推移



騰落率	国・地域別構成上位		業種別構成上位		
	国・地域名	比率	業種名	比率	
1カ月間	+8.8%	米国	87.8%	ソフトウェア・サービス	67.3%
3カ月間	-8.0%	韓国	5.7%	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	13.1%
6カ月間	+2.2%	英国	1.9%	半導体・半導体製造装置	12.3%
1年間	+29.8%	日本	1.1%	メディア・娯楽	2.8%
年初来	-8.0%	イスラエル	0.5%	小売	1.0%
設定来	+54.1%				

- ※ 「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
- ※ 基準価額の計算において実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。
- ※ 騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間としています。実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ※ 国・地域別構成・業種別構成比率は純資産総額に対する割合です。業種名は、原則として世界産業分類基準(GICS)によるものです。
- ※ 上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所) 運用会社からのデータを基に大和アセット作成

※くわしくは「投資信託説明書(請求目論見書)」をご覧ください。

4つのコンセプト「支える技術」 組入れファンド・ETFの概要

グローバルX AI&ビッグデータETF (米国籍、米ドル建)

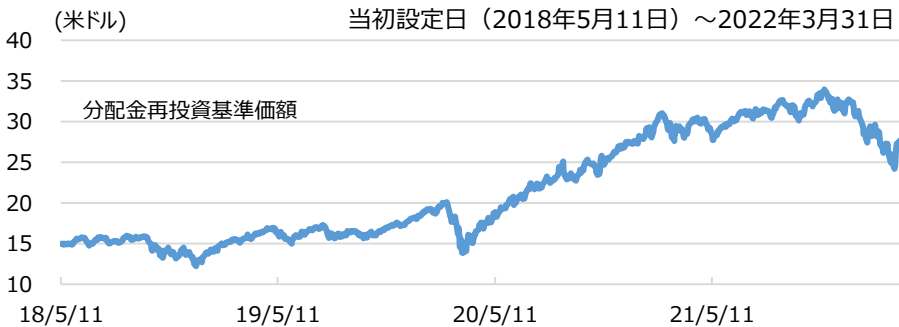
運用会社：
グローバルX
マネジメント・カンパニー

ファンドの特色

- 製品やサービスの提供において、人工知能（AI）テクノロジーのさらなる開発と、その利用拡大から利益を得る可能性がある企業、およびAIやビッグデータ分析を行なうためのハードウェアを提供する企業へ投資します。
- 対象指数への動きに連動した投資成果をめざします。
対象指数：Indxx Artificial Intelligence & Big Data Index

運用状況（基準日：2022年3月31日）

基準価額の推移



騰落率	
1か月間	+0.8%
3か月間	-14.9%
6か月間	-10.2%
1年間	-4.4%
3年間	+74.2%
設定来	+83.5%

国・地域別構成上位	
国・地域名	比率
米国	68.2%
中国	8.7%
韓国	4.4%
アイルランド	4.4%
ドイツ	3.7%

※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。※国・地域別構成は、ファンドの純資産総額に対する比率です。※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。（出所）運用会社からのデータを基に大和アセット作成

※わくわくは「投資信託説明書（請求目論見書）」をご覧ください。

当ファンドは、**Society 5.0**を4つのコンセプトに分類し、
コンセプトに適ったテーマ型ファンドを時流に応じて厳選し、組入れを見直します。

4つのコンセプト

便利な暮らし
(省力化等)

豊かな暮らし
(消費・サービス等)

健康的な暮らし
(医療等)

支える技術
(デジタル基盤技術等)

Society 5.0

日本政府が提唱する未来社会のコンセプト。
「必要な人に、必要なときに、必要なもの」を提供する社会を
実現する長期的なビジョン。
一人ひとりが快適に暮らせる社会の実現を目指します。

これまでの Society 4.0 = 情報社会

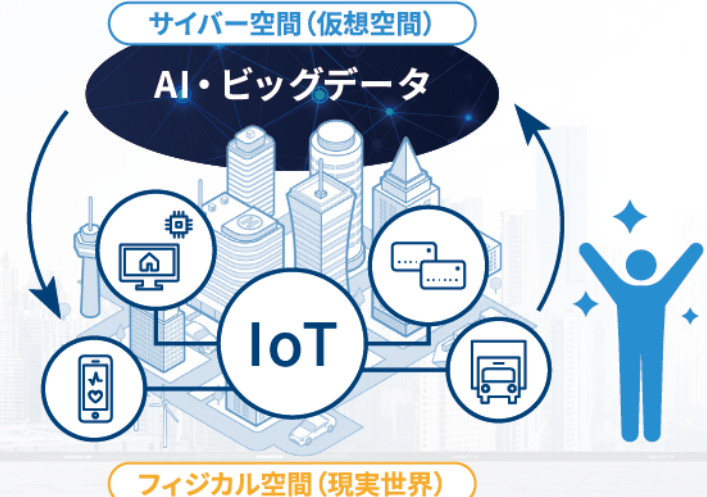


情報へのアクセスは向上したが、効率性の
追求により人へのサービスは画一化。

加速

よりよい人間社会の実現のために
テクノロジーがヒトに寄り添う

Society 5.0 = 超スマート社会



豊富なリアルデータを活用して、様々な物や情報、人を有機的に
繋ぐとともに、AI等の活用により量と質の全体最適をはかる
社会。個々のニーズに応え様々な社会課題を解決、付加価値
を生み出します。

出所：内閣府 Society 5.0「科学技術イノベーションが拓く新たな社会」説明資料を基に大和アセットマネジメント作成 (https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html)

今、人間中心の「超スマート社会」をめざす Society 5.0 が注目されています。

ご参考

SDGs



世界を変えるための17の目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されています。

（出所）国連広報センター

ダイワSociety 5.0 関連株ファンド（資産成長型）（予想分配金提示型）

追加型投信/内外/株式 ※課税上は株式投資信託として取扱われます。

愛称 **スマートテクノロジー**

※お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの特色

1. 「Society5.0」をテーマに投資信託証券を選定し、日本を含む世界の株式に実質的に投資します。

Society 5.0を4つのコンセプトに分け、それぞれの成長性を考慮して、各コンセプトへの投資配分を決定します。

4つのコンセプト

便利な暮らし (省力化等)	豊かな暮らし (消費・サービス等)
健康的な暮らし (医療等)	支える技術 (デジタル基盤技術等)

2. 分配方針の異なる2つのコースがあります。

- 資産成長型：毎年1月19日および7月19日（休業日の場合、翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
- 予想分配金提示型：毎月19日（休業日の場合、翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

投資リスク

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。

基準価額の主な変動要因については次のとおりです。 ※変動要因は下記に限定されるものではありません。

- 株価の変動（価格変動リスク・信用リスク） ● 為替変動リスク ● 新興国への投資リスク ● カントリー・リスク ● その他（解約申込みに伴うリスク等）

ファンドのリスクなどについては、「投資信託説明書（交付目論見書）」にくわしく記載されております。

お申込みにあたっては、必ず内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

収益分配金に関する留意事項

■ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。■ 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。■ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

ファンドの費用（消費税率10%の場合）

❖ お客さまが直接的に負担する費用

	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 3.3% (税込)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	-

❖ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率1.122% (税込)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。
実質的に負担する 運用管理費用の 概算値 (2022年1月末時点)	年率1.67% (税込) ~ 1.96% (税込) 程度 (マザーファンドの投資ユニバースに含まれる投資信託証券の運用管理費用を考慮したものです。実際の組入状況等により変動します。)	
その他の費用・ 手数料	「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただけます。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場投資信託証券は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。